

事例の区分

事業区分	上下水道整備事業
配慮概要	廃棄物の減量化とリサイクル

事業の概要

事業名	仙塩流域下水道事業
実施場所	宮城県多賀城市大代
事業主体	宮城県仙塩流域下水道事務所
実施期間	平成8年度～平成27年度
全体事業費	約10,900,000千円
事業規模等	-
事業概要	下水汚泥を熱焼却処分することで、埋立処分量の削減を図る。また、民間事業者で法面緑化材として有効利用している。

環境配慮の内容

- ・ 終末処理場より発生する下水汚泥を焼却することで、埋立処分量を削減している。また、焼却により発生する排ガスについても、排煙処理塔でSOx、HClを除去している。
- ・ 脱水汚泥をコンポスト化施設を有する民間業者に委託し、法面緑化材として有効利用している。

環境配慮の結果

- ・ 平成11年度の実績では、仙塩流域下水道事業で発生した下水汚泥の原料比率は86%に達している。
- ・ 脱水汚泥の資源化率は4%である。

今後の留意事項等

-

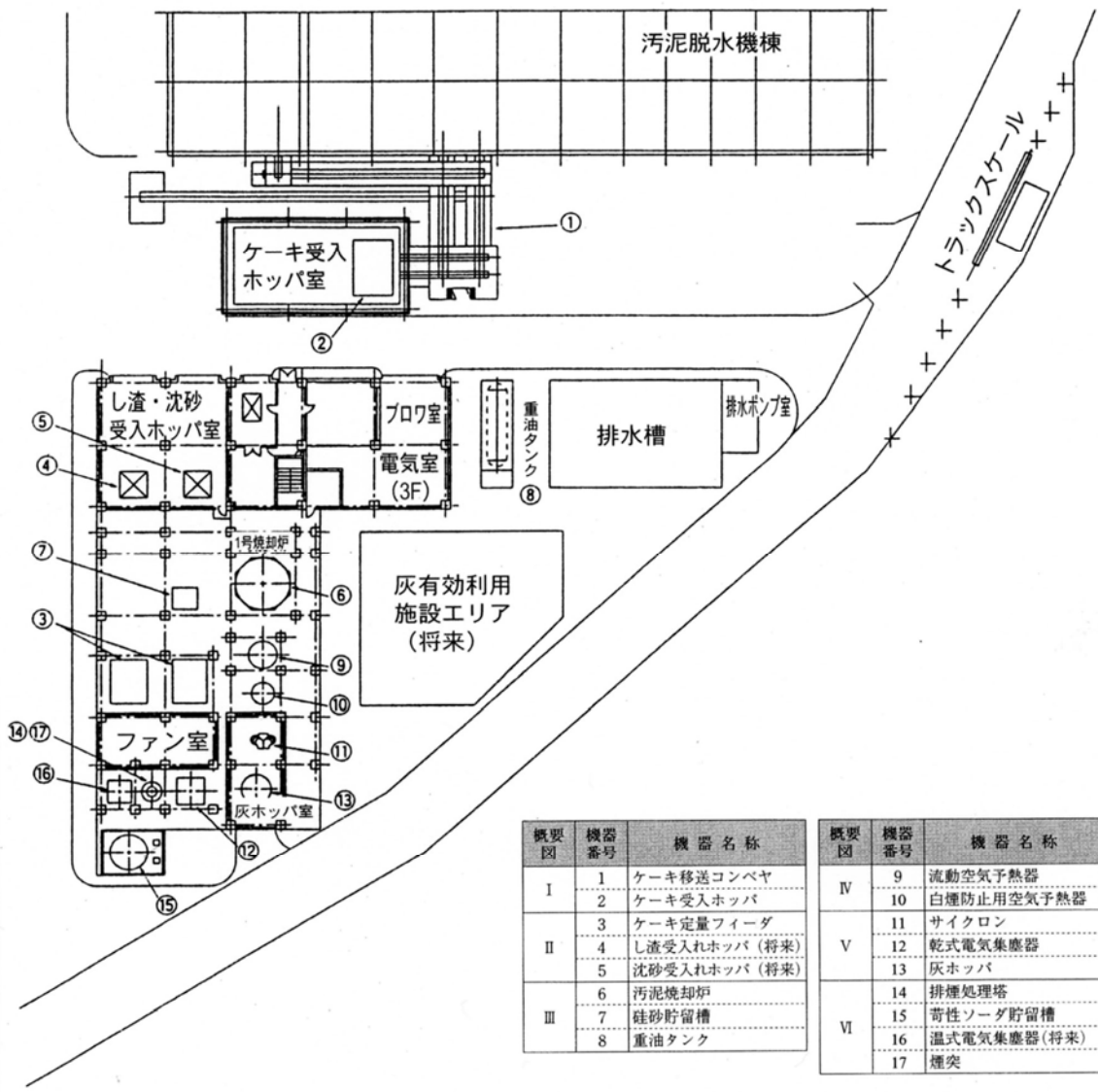
汚泥焼却施設建設計画

- 全体
汚泥焼却炉 3基 (330t/日)
- 第1期
汚泥焼却炉 1基 (110t/日)
- 供用開始
平成8年度

性能諸元

- 公称能力 110t/24H・炉
内訳 脱水ケーキ 105t/日
し 渣 2.5t/日
沈 砂 2.5t/日
- 炉形式 流動床式焼却炉
- 補助燃料 A重油及び消化ガス
(将来LNG交換可)

汚泥焼却施設配置図



出典 「公共事業環境配慮ガイド 事例No.26」 宮城県